

2025年3月期 決算説明会

2025年5月19日

代表取締役社長 齋藤 潔

目次

2025年3月期 決算概要

2026年3月期の見通し

経営戦略

巻末資料

2025年3月期 決算概要

systems

経営成績

良好な市場環境を背景に積極的な営業活動を展開 業績予想を達成し、増収増益

	2024年3月期		2025年3月期			前期比 増減率	対業績予想 達成率
	実績金額	売上比	計画値	実績金額	売上比		
売上高	36,383	—	37,500	38,484	—	5.8%	102.6%
営業利益	4,348	12.0%	4,400	4,422	11.5%	1.7%	100.5%
当期純利益	3,045	8.4%	3,050	3,211	8.3%	5.5%	105.3%
1株当たり 当期純利益	216.91円	—	—	228.76円	—	—	—
R O E	7.5%	—	—	7.5%	—	—	—

単位：百万円

セグメント別の状況

セグメント別 売上高内訳

	2024.3	2025.3	前期比 増減額	営業利益
ソフトウェア 開発関連	35,232	36,996	1,763 (5.0%)	4,300 (0.9%)
プロダクト・ サービス ("その他"事業)	1,150	1,487	336 (29.3%)	128 (37.0%)
全体	36,383	38,484	2,100 (5.8%)	4,422 (1.7%)

売上高はセグメント間の振替前、単位：百万円、（）内は前期比増減率

- ソフトウェア開発の売上高は5.0%増加
- プロダクト・サービスの売上高は大型案件の受注により29.3%増加

事業区分別の状況(通信システム)

通信システム 売上高内訳

	2024.3	2025.3	前期比 増減額	前期比 増減率
ノード	2,488	1,906	▲582	▲23.4%
モバイル ネットワーク	1,887	1,686	▲200	▲10.6%
ネットワーク マネジメント	3,421	3,670	249	7.3%
通信システム	7,797	7,263	▲534	▲6.9%

単位：百万円

- ノード・モバイルネットワークは通信インフラに対する投資が低調に推移したため減少
- ネットワークマネジメントはサービス基盤関連が増加

事業区分別の状況(オープンシステム・組み込みシステム)

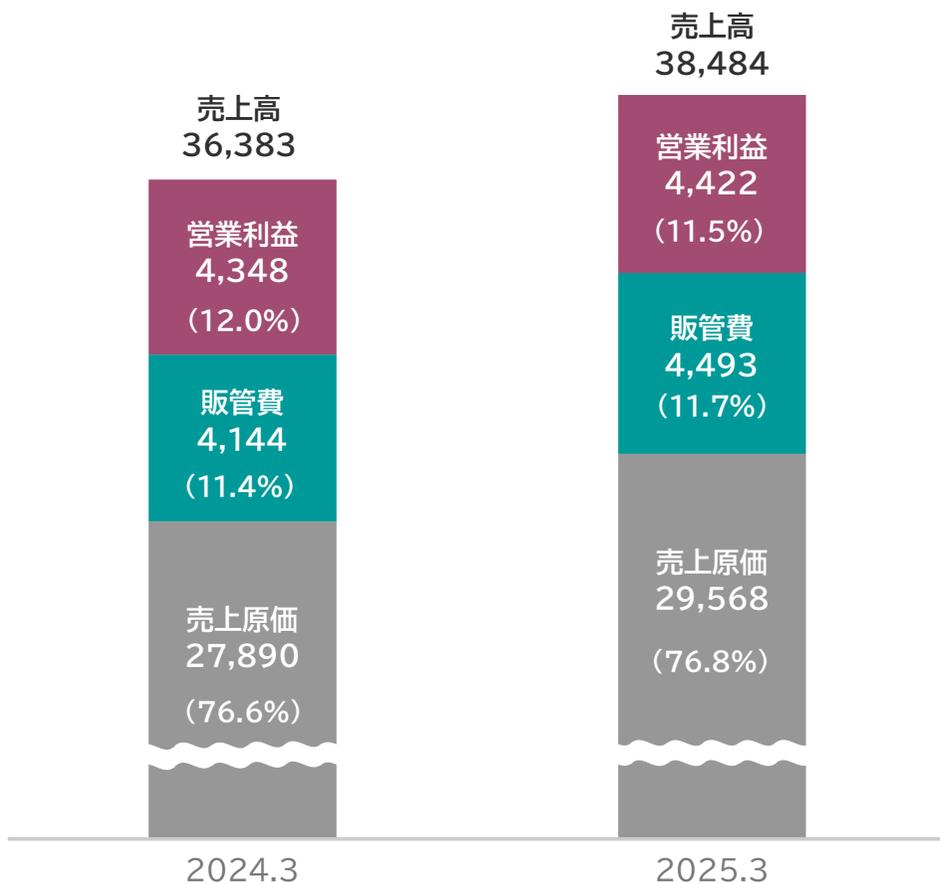
オープンシステム・組み込みシステム 売上高内訳

	2024.3	2025.3	前期比 増減額	前期比 増減率
公共	6,978	8,189	1,210	17.4%
流通・サービス	9,825	9,110	▲715	▲7.3%
金融	3,405	4,358	952	28.0%
情報通信	3,633	3,428	▲204	▲5.6%
その他	2,392	2,598	205	8.6%
オープンシステム	26,235	27,684	1,448	5.5%
組み込みシステム	1,198	2,048	849	70.9%

単位：百万円

- 公共は官公庁関連を中心に増加
- 流通・サービスは物流関連が減少
- 金融はキャッシュレス決済およびインターネットバンキング関連が増加
- 情報通信はインターネットサービス関連が減少
- 組み込みシステムは車載および計測・制御機器関連が増加

売上原価・販管費



単位：百万円、（）内は売上比

売上原価(前期比 1,677百万円増)

- 社員の待遇改善により人件費が増加
(売上原価の主な内訳)

人 件 費 20,465百万円 (前期比 825百万円増)

外 注 費 6,677百万円 (前期比 466百万円増)

販管費(前期比 348百万円増)

- 社員の待遇改善により人件費が増加
- 新入社員の増加により研修費が増加
※ 2024年4月入社:150名(前年比+67名)

(要約) 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書

	2024年3月期	2025年3月期	前期比 増減額
資産の部	50,807	52,016	1,209
流動資産	35,196	34,102	▲1,094
固定資産	15,610	17,914	2,303
負債の部	8,945	8,544	▲401
流動負債	7,656	7,583	▲72
固定負債	1,289	960	▲329
純資産の部	41,861	43,472	1,611
株主資本	41,785	43,382	1,596
評価・換算差額等	75	90	14
自己資本比率	82.4%	83.6%	—
1株当たり純資産	2,981.81円	3,096.62円	114.81円

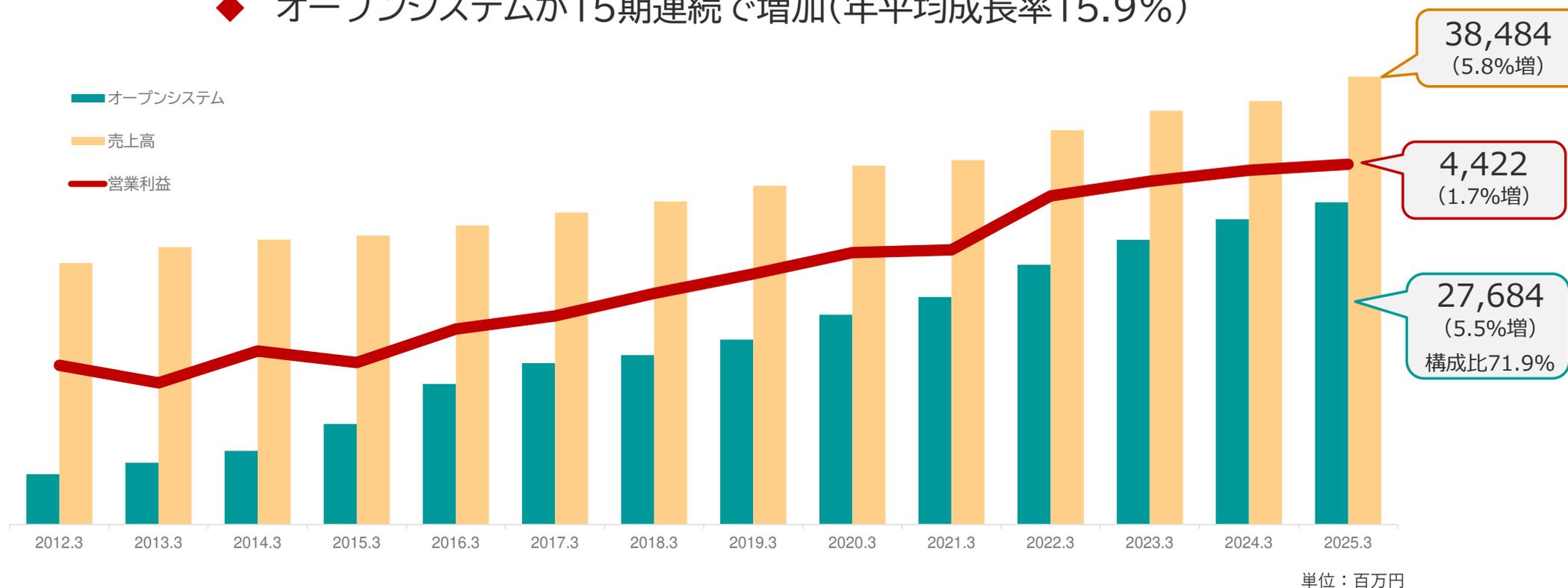
	2024年3月期	2025年3月期	前期比 増減率
営業活動CF	4,706	1,568	▲66.7%
投資活動CF	▲1,138	▲3,085	171.0%
財務活動CF	▲983	▲1,613	64.0%
現金等増減額	2,584	▲3,130	-%
現金等期首残高	22,542	25,126	11.5%
現金等期末残高	25,126	21,995	▲12.5%

単位：百万円

2025年3月期 決算ハイライト

堅調な国内IT市場を背景に、売上高・利益ともに過去最高

- ◆ 全体の売上高は13期連続で増加、営業利益は10期連続で増加
- ◆ オープンシステムが15期連続で増加(年平均成長率15.9%)



2026年3月期の見通し

systems

事業環境

ソフトウェアの開発需要は引き続き活況、通信市場は投資抑制が継続

ソフトウェア開発

良好な市場環境が継続※

企業のDXへの取り組み

官公庁・金融システムのデジタル化・モダナイゼーション

※ 巻末資料：日本銀行「日銀短観 ソフトウェア投資額」、
経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」、
矢野経済研究所「2024 国内企業のIT投資実態と予測」参照

通信市場

大阪・関西万博でNTTがIOWNを展示

ローカル5Gの展開、次世代移動通信システムの検討

通信事業者は「非通信」事業への投資を拡大

※ 巻末資料：CIAJ「通信機器中期需要予測」参照

モビリティ市場

車載向けソフトウェア市場は拡大傾向

AIとセンサーの融合による自動運転の進化

交通インフラの高度化への動き

プロダクト・サービス(文教市場)

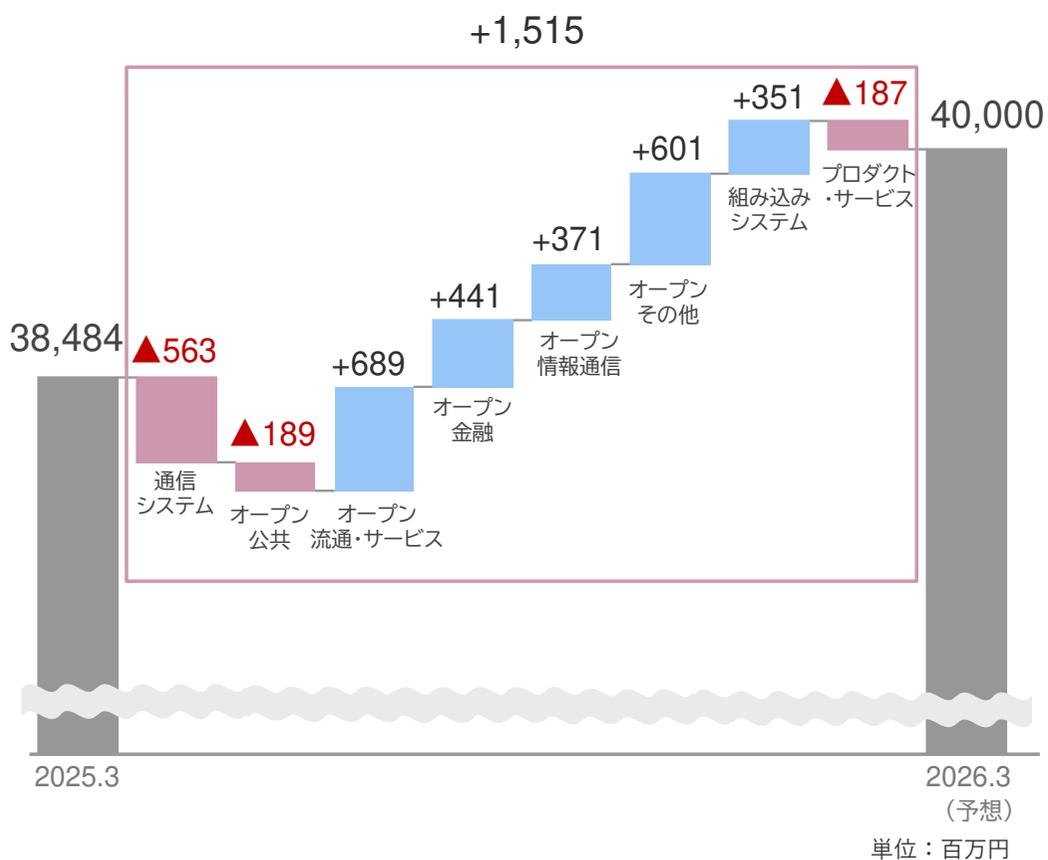
xR(Extended Reality:拡張現実)技術の教育活用

大学DXの推進

生成AI活用による効率化

業績見通しハイライト

堅調な国内IT市場のもと、開発体制の拡充を進め、増収増益



- 通信システムは大型商談が少なく減少
- 公共は大型案件の移行タイミングに入り微減
- 流通・サービス、金融、情報通信の見通しは良好
- 組み込みシステムは拡大を予想するも自動車業界の景気動向を注視
- 今年の新卒社員数は179名(昨年比+29名)

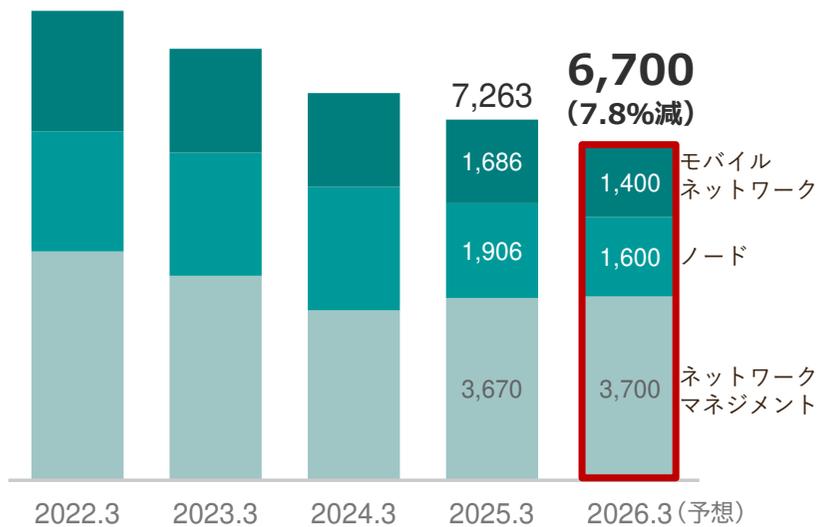
体制を增強し、事業を拡大

- 若手の早期戦力化
- ビジネスパートナーと連携強化

2026年3月期 見通し①

通信システム

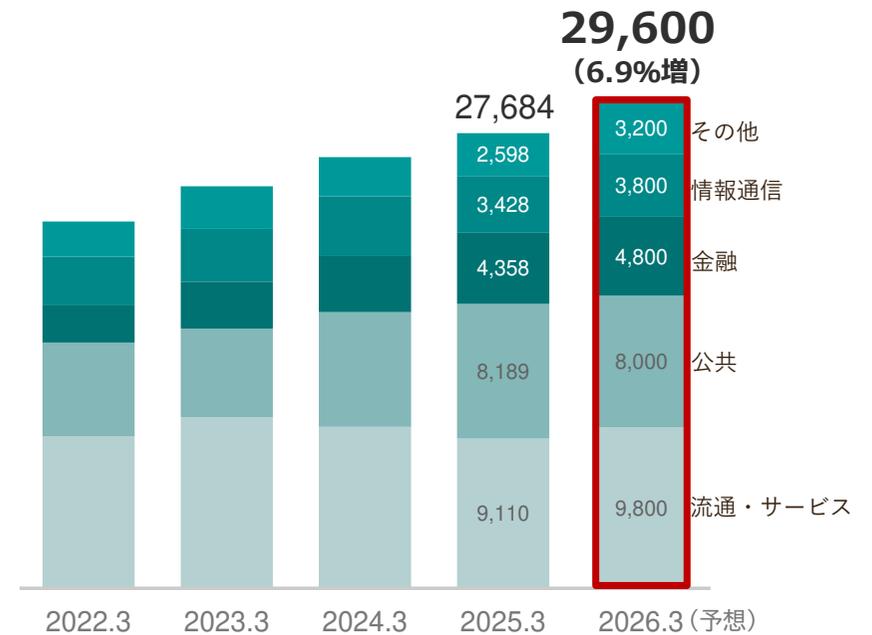
- IOWN構想は進展しつつも開発需要の増加には時間を要す見込み
- 通信システムに関する優位性は維持



単位：百万円

オープンシステム

- 流通・サービス、金融、情報通信が成長をけん引

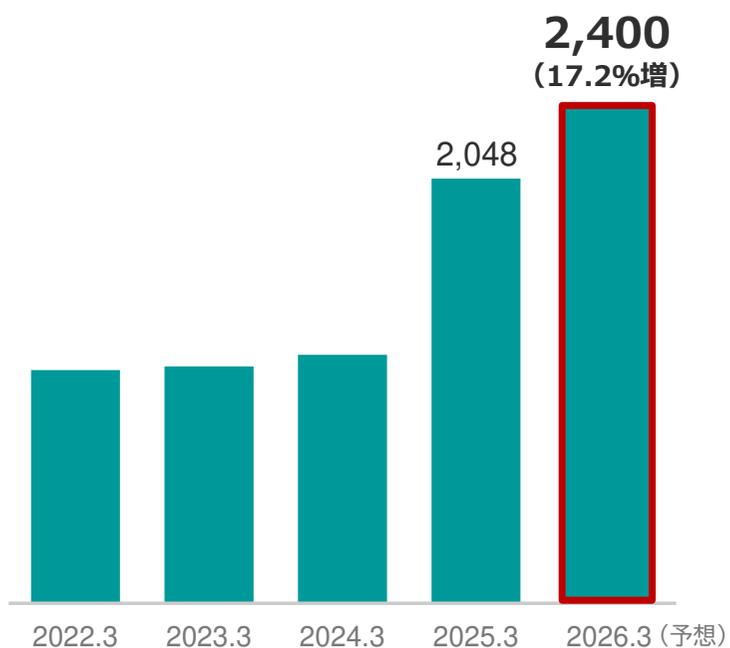


単位：百万円

2026年3月期 見通し②

組み込みシステム

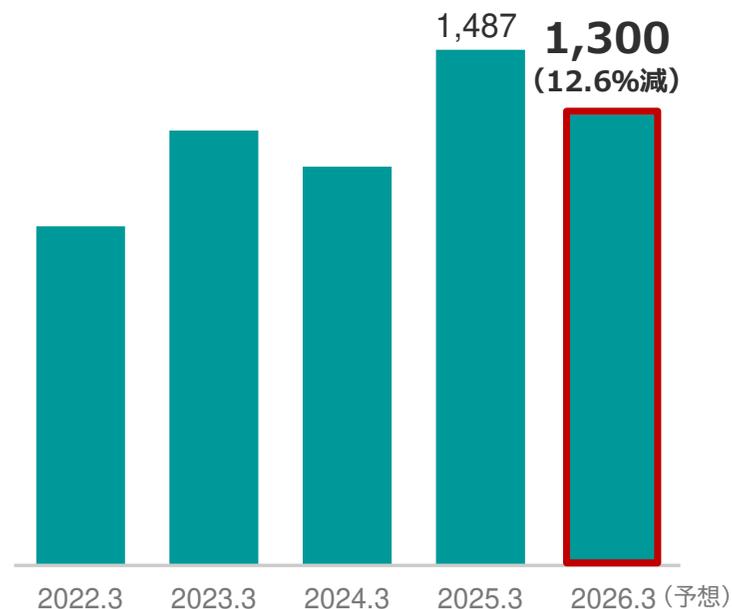
- 車載および計測・制御機器関連を中心に増加



単位：百万円

プロダクト・サービス

- 前期の大型案件の反動減により減少



単位：百万円

2026年3月期 見通し(全体)

売上高は400億円(前期比3.9%増)、営業利益は48億円(前期比8.5%増)

セグメント別

	2025.3	2026.3	増減額 (増減率)
ソフトウェア 開発	36,996	38,700	1,703 (4.6%)
プロダクト・ サービス (“その他”事業)	1,487	1,300	▲187 (▲12.6%)
売上高	38,484	40,000	1,515 (3.9%)
営業利益	4,422	4,800	377 (8.5%)

単位：百万円

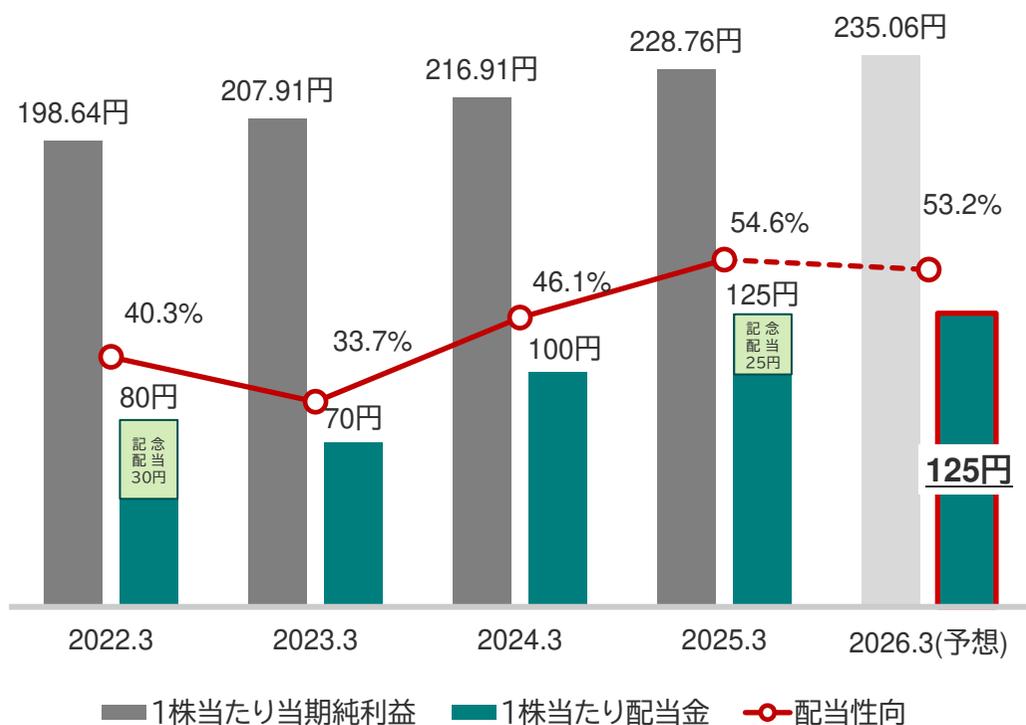
ソフトウェア開発関連事業 事業区分別

	2025.3	2026.3	増減額	増減率	構成 比率
ノード	1,906	1,600	▲306	▲16.1%	4.1%
モバイルネットワーク	1,686	1,400	▲286	▲17.0%	3.6%
ネットワークマネジメント	3,670	3,700	29	0.8%	9.6%
通信システム	7,263	6,700	▲563	▲7.8%	17.3%
公共	8,189	8,000	▲189	▲2.3%	20.7%
流通・サービス	9,110	9,800	689	7.6%	25.3%
金融	4,358	4,800	441	10.1%	12.4%
情報通信	3,428	3,800	371	10.8%	9.8%
その他	2,598	3,200	601	23.1%	8.3%
オープンシステム	27,684	29,600	1,915	6.9%	76.5%
組み込みシステム	2,048	2,400	351	17.2%	6.2%

単位：百万円

配当

2025年3月期：1株あたり125円(中間配当50円、期末配当50円、記念配当25円)



基本方針

- 安定的かつ継続的な配当による利益還元の維持
- 業績、利益水準に応じた配当水準の更なる向上
- 配当性向50%を目標

剰余金の配当等の決定に関する方針に基づき、普通配当により利益還元

経営戦略

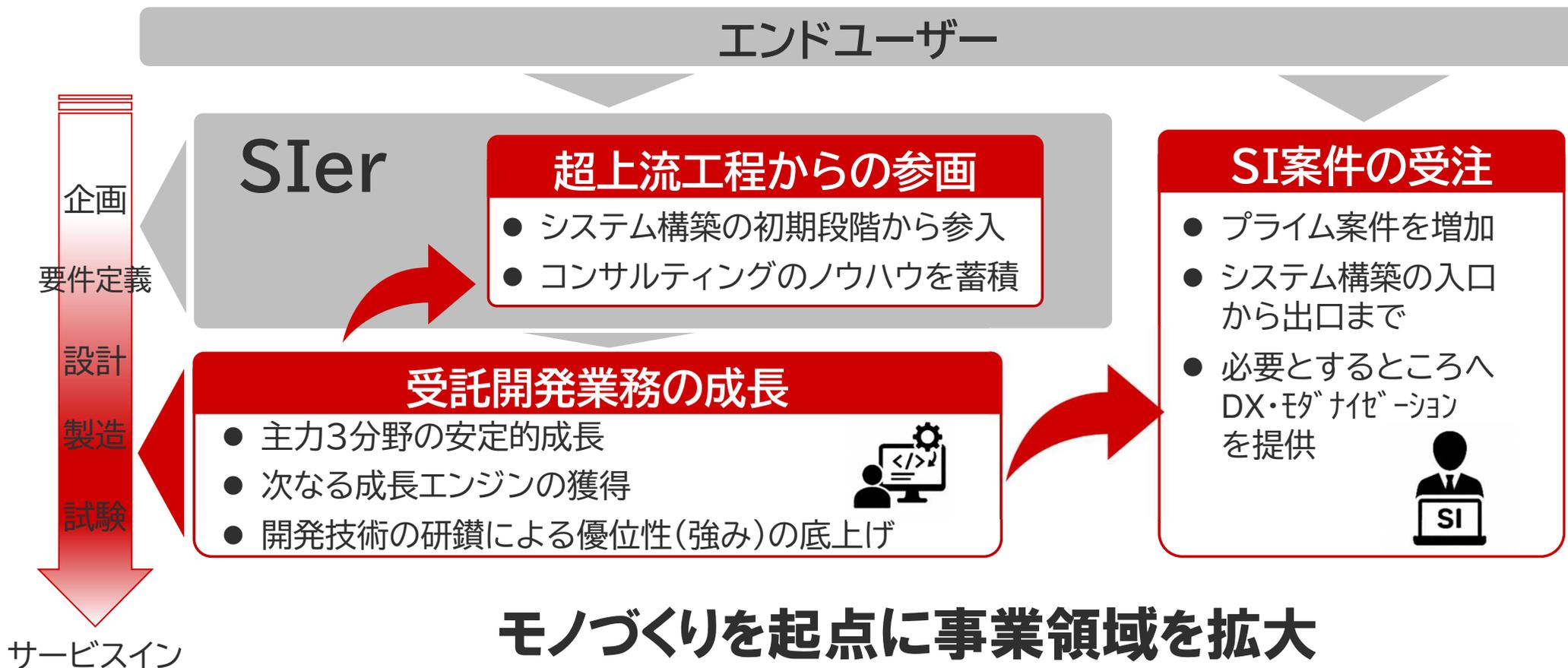
systems

経営戦略

戦略	主な内容
システム開発事業の基盤拡大	事業における「強み」の確立
	事業領域拡大による成長力の拡充
ソリューションビジネスの拡大	製品ラインナップの拡充
	販売チャネルの強化・収益力の向上
AI技術を基盤とした事業成長	システム開発事業変革
	新たな価値創出

システム開発事業の基盤拡大

》》》 拡大するDX・モダナイゼーション需要に応える



ソリューションビジネスの拡大

》》》 3つの施策によりソリューションビジネスの拡大を図る

製品ラインナップの拡充

- 研究開発の推進
- **新製品**のリリース

販売チャネルの強化

- ベンダーの連携強化・拡充
- **一般法人市場**への展開

収益力の向上

- ライセンス販売の強化
- 営業DXの開始

V-Boot



PC管理者様向け

PC運用管理システム

alpha V-Reality



VR実習の管理者様向け

VR実習支援システム

alpha Vclass Cloud



PC授業を行う教員様向け

クラウド型授業支援サービス

授業録画配信ソリューション



大学で授業を行う教員様向け

授業の録画から仕分け・公開までを自動化

V-Recover



PC管理者様向け

環境復元システム

AI技術を基盤とした事業成長

▶▶▶ AI技術をシステム開発に取り入れ、開発の効率化を目指す

企画 ▶▶▶ 要件定義 ▶▶▶ 設計 ▶▶▶ 製造 ▶▶▶ 試験 ▶▶▶ サービスイン
+ AI 

▶▶▶ 従来のソフトウェア開発技術にAI技術を兼ね備えた技術者の育成



ソフトウェア開発技術

- システム開発における確固たる**技術力**
- AIの使いどころの適確な**判断力**



AI活用技術・知識



- AIから最大限のアウトプットを引き出すための**スキル**
(目的設定能力、言語化力、質問力、批判的思考力、反復・改良力、デジタルリテラシー、想像的応用力)

中長期的な成長の方向性

『社会インフラを支える企業』として成長を追求

通信システムを支える

社会の基幹システムを支える

教育機関のDXを支える

お客様の事業に精通したエンジニアが最新技術を活用し
上質なサービスを提供する企業であり続ける



株式会社アルファシステムズ

<https://www.alpha.co.jp/>

<本資料の取扱上のご注意>

業績予想等につきましては、本資料の発表日現在におきまして入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合がありますので、あらかじめ、ご了承願います。

<本資料に関する問い合わせ>

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6丁目6番1号 本社(中原テクノセンター1号館)

株式会社アルファシステムズ 経営企画本部 広報室

TEL : (044)733-4111(代) E-mail : ir@alpha.co.jp

WEB : <https://www.alpha.co.jp/>